

智頭町地震に備えて

近年、日本各地で毎年のように大規模地震が発生しています。地震の発生が予想されていなかった地域での大規模地震もあり、地震は「いつ、どこで発生してもおかしくない災害」です。

「まさか、ここで地震が起きるとは夢にも思わなかった…」地震が起こった後にそう言っても、遅いのです。あなたの地域の危険性を知り、家族と地域を守るために、日ごろから地震に備えておきましょう。

どんな地震が起こるの？

山崎断層（北西部）による地震が起きた場合、智頭町に影響を与えることがわかっています。



また近年は、活断層が見つかっていない地域でも地震は発生しています。



もし、智頭町の直下で地震が起こった場合、非常に大きな揺れが予想されます。

- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱

地震は本当に起こるの？

今後30年以内の地震発生確率*	
山崎断層（北西部）	0.08～1%
山崎断層（南東部）	0.03～5%
【参考】兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災） 地震発生直前の地震発生確率	0.4～8%

* 地震調査研究推進本部調べ。2008年1月1日基準。

山崎断層の今後30年以内の地震発生確率は北西部で0.08～1%、南東部で0.03～5%となっています。これは、阪神・淡路大震災の発生直前の確率とあまり変わらず、決して低い確率ではありません。智頭町でも地震には注意が必要です。

活断層の存在が明らかでなかった地域で最近発生した大地震			
地震	発生日月	マグニチュード	被害状況
新潟県中越地震	H16.10.23	M6.8	死者67名 全壊3,175棟
福岡県西方沖地震	H17.03.20	M7.0	死者1名 全壊133棟
岩手・宮城内陸地震	H20.06.14	M7.2	死者13名 全壊23棟

新潟県中越地震や福岡県西方沖地震、岩手・宮城内陸地震では、発生当時は活断層が未発見でした。活断層が見つかっていない地域や地震活動が活発でない地域でも大地震は発生しています。

大地震発生！何が起こる？～集落孤立～

新潟県中越地震や岩手・宮城内陸地震では、山間部での土砂の崩落が多く、多くの箇所で見られました。土砂が崩れると、家屋が埋もれたり、流されたりするおそれがあります。また、道路が寸断されて、集落が孤立するおそれもあります。

「寸断された線路」



「崩れた道路斜面」



写真：新潟県中越地震の被災の様子

あなたの家の周りや避難のときに使うであろう道路沿いに、地盤のゆるいところや崩れそうな急傾斜のかけはありませんか？日ごろから近くの山や斜面に注意しておきましょう。

「どんな斜面・地域があぶない！」

大雨時に崩れたことがある斜面



斜面の下に小さな石ころが落ちている斜面



迂回路がない地域



ダムの下流にある地域



あなたの集落はだいじょうぶ？

集落の孤立に備えて、地区のみなさんで対策を実行しましょう。

■ 水・食料や医薬品の備蓄、緊急用資機材の用意

防災行政無線など、電話が不通になった場合の通信手段を用意し、使用方法を確認しておきましょう。地区で水や食料の備蓄、医薬品や非常用電源等の用意を行いましょう。



■ 危険箇所、避難路の確認

崩れるおそれのある斜面をみなさんで確認しましょう。また、避難場所や近隣集落への避難路・迂回路を確認しておきましょう。



■ 地域の防災マップづくり

確認した危険箇所や避難路は、みんなで話し合っ、地域の防災マップに取りまとめ、集落のみなさんに周知しましょう。

■ 災害時要援護者の支援

高齢者や障害者など、一人で逃げるのが容易ではない方々との連絡方法、いざという時の避難における手助け方法などは、地域や家族で話し合っておきましょう。



大地震発生！何が起こる？～家屋倒壊～

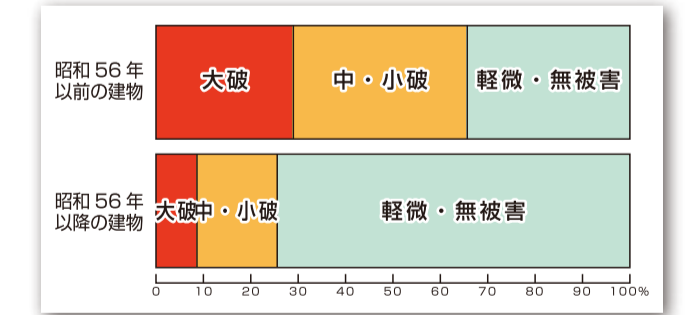
阪神・淡路大震災では、地震による直接の被害者の約9割が、建物の倒壊や家具の転倒による窒息死や圧死によって亡くなったことが明らかとなっています。なかでも、1981年（昭和56年）以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高く、特に危険です。

地震被害の大半は建物被害



出典：警察白書平成7年度版

なかでも古い建物は特に危険



出典：阪神・淡路大震災建築震災調査委員会報告書（平成7年）

家屋の倒壊は、避難・消火も困難に



阪神・淡路大震災 倒壊した古い家屋（神戸市灘区）



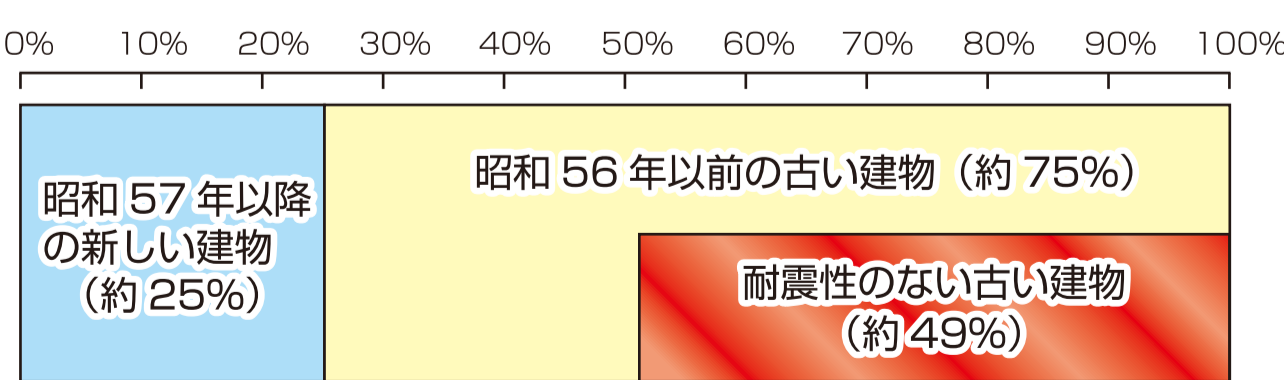
阪神・淡路大震災 道路の閉塞（西宮市）

また、家屋が倒壊することにより、道路がふさがれて、避難が困難になるおそれがあります。あわせて、火災が発生しても、緊急車両が通行できず、救助活動や消火活動に支障をきたすおそれがあります。

あなたの家はだいじょうぶ？

下のイラストのような家は地震に弱いと言われています。あなたの家は本当にだいじょうぶ？

「こんな家があぶない！」

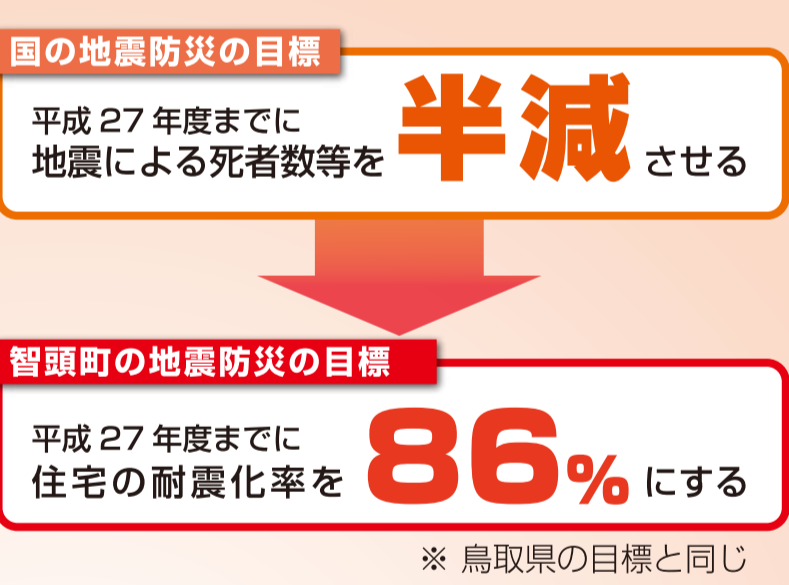


智頭町では、耐震性のない古い建物が、全建物の半数近くを占めています。

耐震化の促進により、建物被害は軽減できます。

耐震改修のすすめ

智頭町では、地震に強いまちづくりを目指して、耐震改修促進計画を策定し、住宅及び建築物の耐震化に取り組んでいます。町有施設の耐震化を進めるとともに、智頭町に住む皆さんが、耐震化に取り組みやすいように、負担の軽減や情報提供などに努めています。



【みなさんに取り組んでほしいこと】

- 誰でもできるわが家の耐震診断
ご家庭でも簡単にできる耐震診断方法があります。
（財）日本建築防災協会 ホームページ
http://www.kenchiku-bosai.or.jp/wagayare/taisin_flash.html
『誰でもできるわが家の耐震診断』
監修：国土交通省住宅局 編集：（財）日本建築防災協会
- 木造住宅耐震診断
地震に強い家にするには、まず家の耐震性を知ることが大切です。耐震性に不安を感じる場合は専門家に診断してもらいましょう。智頭町では、耐震診断に対して、補助金を用意しています。*
- 木造住宅耐震改修
家の耐震性が足りない場合は、建替えや補強工事を行う必要があります。改修計画の作成や耐震改修には、補助が出ます。*
※ 補助を受けるには一定の条件があります。



地震に備えてできること

- 家具の転倒防止
強い地震が起こると、転倒した家具の下敷きになったり、屋外への避難ができなくなったりするおそれがあります。家具を固定しておきましょう。
- 非常用持ち出し品の準備
地震に備えて、非常用持ち出し品の準備をしましょう。

地震が起こった時は

- 避難の時に注意すること！
・避難の前に、もう一度火の元、ガスの元栓、電気ブレーカーを確認しましょう。
・荷物は必要最小限で。
・ブロック塀や自動販売機、垂れた電線には近づかないようにしましょう。
・子ども、障害者、高齢者等の避難は、地域の人々で協力しましょう。

- 災害時伝言サービスを活用しましょう。
安否の確認や連絡用には、災害時の伝言サービスを利用しましょう。くわしくは、各電話会社のサービス内容をご確認ください。

NTT西日本 171をダイヤルして、「災害用伝言ダイヤル171」を利用することができます。

各社携帯電話 サービス画面のトップページに表示される「災害用伝言板」を選択して、利用することができます。

お問合せは 智頭町 建設農林課
電話:0858-75-4111 FAX:0858-75-1193
E-mail:kensetsu@town.chizu.tottori.jp